

令和4年度

北日本ヘア・スタイリストカレッジ
自己評価委員会報告書

令和4年 自己評価の公表について

北日本ヘア・スタイリストカレッジの自己評価結果を公表します。

令和5年3月31日

北日本ヘア・スタイリストカレッジ

校長 奈良 憲光

自己点検表

1 教育理念

- ・「人格の完成」、「心身ともに健康な国民の育成」とともに職業人としての専門的知識と技能を修得させ、国家、社会に寄与できる人材の育成を図る。
- ・わが国の伝統と文化を尊重し、国土を愛し、国際社会の平和と発展に寄与できる人材の育成を図る。

2 教育目的

- ・本校は、美容師法の趣向に基づき、美容の専門技術並びに学術を教授し、併せて一般教養の向上の陶冶を図り、優秀な美容師の養成を目的とする。

3 人材育成像

- ・美を追求する」をモットーに、技術と人間性を磨き、ヘア、メイク、ネイル、エステなどトータルビューティアーを担う「美のアーティスト」を育成します。

4 評価項目

4 (適切)、3 (ほぼ適切)、2 (やや不適切)、1 (不適切) (1) 教育理念・目的・人材育成像

| 評価項目 | | 評価 |
|--|---|----|
| ・学校の理念、目的、育成人材像は定められているか。(専門分野の特性が明確になっているか) | | 4 |
| ・社会のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか。 | | 4 |
| ・学校の理念、目的、育成人材、特色、将来構想などが生徒、学生、関係業界、保護者等に周知されているか。 | | 4 |
| 実 現 状 況 及 び 課 題 | 【短期的な課題】 ・学校関係者評価委員会において学校の重点目標を見据えた会議を実施する。 【中長期的な課題】 ・学校の重点目標の設定は、前年度の自己評価及び学校関係者評価の結果及び評価結果等も生かした重点目標を設定する。 | |
| 具 体 的 な 改 善 策 | ・学校法人にともない教育理念や目的、人材育成像について職員会議で話し合い、変更した。 | |

(2) 学校運営

| 評価項目 | | 評価 |
|--|---|----|
| ・目的等に沿った運営方針が策定されているか。 | | 4 |
| ・運営方針に沿った事業計画が策定されているか。 | | 4 |
| ・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか。 | | 4 |
| ・教育活動に関する情報公開が適切になされているか。 | | 4 |
| ・情報システム化等による業務の効率化が図られているか。 | | 3 |
| 実 現 状 況 及 び 課 題 | 【短期的な課題】 ・教育活動に関する情報公開準備を行う。 【中長期的な課題】 ・3月末までに教育活動に関する情報を公開する。 | |
| 具 体 的 な 改 善 策 | ・職員間で職員会議などを通して共通認識を図り、年間行事等も検討していく。 ・情報公開については、継続して最新情報をホームページ上で公開する。 | |

(3) 教育活動

| 評価項目 | | 評価 |
|---|--|----|
| ・教育理念等に沿った教育課程の編成、実施方針等が策定されているか。 | | 4 |
| ・教育理念、育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか。 | | 4 |
| ・キャリア教育、実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫、開発などが実施されているか。 | | 3 |
| ・関連分野の企業、関係施設等、業界団体等との連携により、カリキュラムの作成、見直し等が行われているか。 | | 4 |
| ・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターンシップ、実技、実習等)が体系的に位置付けられているか。 | | 4 |

| | | |
|--------------------|--|---|
| | ・授業評価の実施、評価体制はあるか。 | 4 |
| | ・職業教育に関する外部関係者からの評価を取り入れているか。 | 4 |
| | ・成績評価、単位認定、進級判定、卒業判定の基準は明確になっているか。 | 4 |
| | ・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中で体系的な位置づけはあるか。 | 4 |
| | ・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか。 | 4 |
| | ・関連分野における業界等との連携において優れた教員（本務、兼務を含め）を確保するなどマネジメントが行われているか。 | 4 |
| | ・関連分野における先端的な知識、技能等を修得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか。 | 3 |
| | ・職員の能力開発のための研修等が行われているか。 | 3 |
| 実 現 状 況 及 び 課 題 | 【短期的な課題】 ・シラバス（授業概要）の内容の見直しを行う。 ・「学校運営・教育マネジメント等に関する専門的能力の修得・向上」するための研修へ参加する。 【中長期的な課題】 ・科目の意義や内容等を周知するためにシラバス（授業概要）を作成し、学生、教員、講師、実習先等へ配布する。 ・「専攻分野における実務に関する知識・技術・技能の修得・向上」、「授業及び学生に対する指導力等の修得・向上」及び「学校運営・教育マネジメント等に関する専門的能力の修得・向上」の3分類の教員研修へ参加する。 | |
| | ・今後も校外・校内実習を実施し 評価についても継続して実施していく。 ・職員会議などで各学年、クラスの情報を交換するとともに、学生に対し成績評価の判定基準を周知徹底する。 ・今後も情勢をみながら、内容を精査した上で積極的に参加する。 | |

(4) 学修成果

| | 評価項目 | 評価 |
|--------------------|--|----|
| | ・就職率の向上が図られているか。 | 4 |
| | ・資格取得率の向上が図られているか。 | 3 |
| | ・退学率の低減化が図られているか。 | 3 |
| | ・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか。 | 3 |
| 実 現 状 況 及 び 課 題 | 【短期的な課題】 ・就職指導を行い、就職意識をたかめる。 ・資格習得に向けた指導内容を検討する。 【中長期的な課題】 ・就職先の開拓を行い、就職率100%をめざす。 ・資格取得に向けた指導を行い、合格率100%を目指す。 | |
| | ・今年度も就職率100%を目指して学生に声掛けなど早めに対応していく。 ・国家試験合格率100%を目指して、指導内容を再検討し早めに対応していく。 ・退学率低減のため、今後も退学者低減のため個別面談を継続していくとともに、保護者との連絡も密に対応していく。 ・卒業生・就職先のアンケートをもとに、今後の学校の在り方を検討したい。卒業生が来校時にアンケート調査を行う。 | |

(5) 学生支援

| | 評価項目 | 評価 |
|--|---|----|
| | ・進路、就職に関する支援体制は整備されているか。 | 4 |
| | ・学生相談に関する体制は整備されているか。 | 4 |
| | ・学生の経済的側面に対する支援体制は整備されているか。 | 4 |
| | ・学生の健康管理を担う組織体制はあるか。 | 3 |
| | ・学生の生活環境への支援は行われているか。 | 4 |
| | ・保護者と適切に連携しているか。 | 4 |
| | ・卒業生への支援体制はあるか。 | 3 |
| | ・高校、高等専修学校等との連携によるキャリア教育、職業教育の取組が行われているか。 | 4 |

| | |
|--------------------|---|
| 実 現 状 況 及 び 課 題 | 【短期的な課題】 ・キャリア支援室の利用。 【中長期的な課題】 ・面接や進路相談、就職先の開拓などの就職支援活動を継続して実施する。 |
| 具 体 的 な 改 善 策 | ・今後も進路指導担当と担任と連携を図って支援をしていく。 ・今後も現在行っている学生支援制度のさらなる周知を図っていく。 ・対しての支援も引き続き行っていく。 |

(6) 教育環境

| 評価項目 | | 評価 |
|--|---|----|
| ・施設、設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか。 | | 3 |
| ・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修の場等について十分な教育体制を整備しているか。 | | 4 |
| ・防災に対する体制は整備されているか。 | | 4 |
| 実 現 状 況 及 び 課 題 | 【短期的な課題】 ・年間 30 時間以上の校外実習及び校内実習の検討。 【中長期的な課題】 ・年間 30 時間以上の校外実習及び校内実習を実施する。 | |
| 具 体 的 な 改 善 策 | ・購入計画を立て進めていく。 ・年間 30 時間以上の校内外実習を継続する。 ・今後も防災訓練を継続する。 | |

(7) 学生の受け入れ募集

| 評価項目 | | 評価 |
|----------------------|--|----|
| ・学生募集活動は、適正に行われているか。 | | 4 |
| ・学生納付金は妥当なものとなっているか。 | | 4 |
| 実 現 状 況 及 び 課 題 | 【短期的な課題】 ・学生募集活動を継続する。 【中長期的な課題】 ・学校としての取り組みを広く広報し、適正な募集活動に努める。 | |
| 具 体 的 な 改 善 策 | ・学校としての取り組みを広く広報するため、学校案内の他にオープンキャンパスやホームページにて周知する。 | |

(8) 財務

| 評価項目 | | 評価 |
|----------------------------|--|----|
| ・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか。 | | 3 |
| ・予算、収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか。 | | 4 |
| ・財務について会計監査が適正に行われているか。 | | 4 |
| ・財務情報公開の体制整備はできているか。 | | 4 |
| 実 現 状 況 及 び 課 題 | 【短期的な課題】 ・学生募集活動を継続して行う。 ・教材費の金額を検討する。 【中長期的な課題】 ・入学者数を増やす。 ・教材費の金額を決定し、学校案内等に掲示する。 | |
| 具 体 的 な 改 善 策 | ・中長期的に学校の財務基盤を安定させるために、令和 3 年 12 月に予算の執行状況の把握や、今後の支出内容の見直しを行った。 ・財務に関する情報を継続して公開する。 | |

(9) 法令等の遵守

| 評価項目 | | 評価 |
|---------------------------------|--|----|
| ・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているか。 | | 4 |
| ・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか。 | | 3 |
| ・自己評価の実施と問題点の改善に努めているか。 | | 4 |
| 実 現 状 況 及 び 課 題 | 【短期的な課題】 ・自己点検の実施を検討する。 【中長期的な課題】 ・自己点検表を作成し実施する。 | |

| | |
|---------|---|
| 具体的な改善策 | ・専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がなされているかを確認するために、自己点検を実施した。今後も法令の遵守に努める。 |
|---------|---|

(10) 社会貢献・地域貢献

| 評価項目 | | 評価 |
|----------|---|----|
| | ・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献、地域貢献を行っているか。 | 4 |
| | ・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか。 | 3 |
| | ・地域に対する公開講座、教育訓練（公共職業訓練等を含む）の受託等を積極的に実施しているか。 | 4 |
| 実現状況及び課題 | 【短期的な課題】 ・社会・地域貢献を継続する。 【中長期的な課題】 ・社会・地域貢献活動をするための体制を整備する。 | |
| 具体的な改善策 | ・今後も可能な限り社会貢献できるよう参加する。 | |